

あさきた

／ 知って得する! ／

居宅に訪問して支援する際のお掃除の小技!

～住民主体型生活支援訪問サービス実施団体研修会を開催しました～

令和5年1月23日(月)に安佐北区内で活動する住民主体型生活支援訪問サービス実施団体を対象に研修会を開催しました。研修会のテーマは「知って得する! 居宅に訪問して支援する際のお掃除の小技」です。亀山地域にある(有)ホームクリーンの取締役 平岡秀典様を講師として招き、楽しく学びました。



住民主体型生活支援訪問サービスとは、地域団体等が簡易な生活支援が必要な高齢者等の居宅を訪問し、生活の支援を行うもので、広島市に応募して選定された団体です。安佐北区内には、令和4年度時点で7団体の実施団体が活動しています。そこでは、地域の中でのつながりや支え合い、ご近所の気に掛け合いの延長線の中で、それぞれの地域で無理のない範囲でできる支援を継続して行っています。

今回の研修では、そんな団体から寄せられた意見の中で、「足腰が悪くなった方の居宅を訪問し、キッチン周りのお掃除を一緒にした際に、頑固な油污を落とすのが大変だった。簡単に汚れを落としたりするコツを学べる研修をしてほしい」という意見から開催しました。

あくまで、住民主体型生活支援訪問サービスは地域のつながりの中で、支援の必要な高齢者の方等にサポートをするものです。したがって、お掃除が目的ではありません。お掃除のサポートをきっかけとして、地域のつながりづくり、住み慣れた地域で共に暮らすために必要な支え合いの仕組みを作っていくことが大きな目的となります。



研修を通して、お掃除の労力を軽減し、余裕ができた時間で生活支援が必要な高齢者の方等とコミュニケーションをとってもらえるようになればと思っています。

今回は、居宅に訪問して支援する場合を想定した研修でしたが、屋外の支援で草むしり等をされている団体も多くありますので、引き続き必要なサポート等を団体と相談しながら実施していけたらと思います。

目次～主な内容～

- 住民主体型生活支援訪問サービス実施団体研修会 … P1 □ ボランティアセンター通信 …… P3
□ 安佐北区域協議体の取組と進捗・新規団体の募集 … P2 □ お知らせ 他 …………… P4

「 ケア 」を世の光に！ プロジェクト



～安佐北区域協議体の取組と進捗～



安佐北区域協議体では、令和3年4月に亀山で発生した介護殺人事件を契機として、令和3年度から老々介護、男性介護者の社会的孤立問題について考え、その問題解決に資する取組について検討してきました。そして、基本的な方向性・理念を策定し、そのキャッチフレーズとして「 ケア 」を世の光に！”とさせていただきます。

1 「 私 ケア 貴方 」を世の光に！

この理念に込めた思いは以下の2つです。

- ①「私」と「貴方」の間に生まれる“生の営み”がケア！
「私」と「貴方」という意味を込めたスペースを「ケア」の前後に挿入し、「 ケア 」とすることで、ケアの双方向性を端的に表現しました。
- ②「私」と「貴方」の間に生まれる「 私 ケア 貴方 」という営みは、「共に生きることの意味や豊かさ」をたくさん秘めていることを積極的に捉え、それを社会に伝えていくことによって私たち自身の在り方や社会の在り方を変革していくことを究極的に目指していくための決意表明として、「 ケア 」を世の光に！（「介護を必要としている方と介護者の間に生まれる意味と豊かさ“を”世の光に！」）としました。

2 プロジェクトで実施する取組

令和5年度から令和7年度に向けて本格的にプロジェクトを始動させていくこととしています。実施する取組については、まだまだに詰めていく必要がありますが、この社会・地域に住む誰もが、安心して暮らし続けていくために、「 ケア 」にふれあい・親しみを持てるようなイベントや介護者等のケアラーに優しい地域に向けて、居場所づくりや種々のサポートについて考えていきたいと思っています。これからの取組については、また改めて報告・広報させていただきます。

令和5年度 地域高齢者交流サロン・地域介護予防拠点 新規団体募集のお知らせ

地域での通いの場・介護予防への取組を行う団体に、3年間を限度として補助金を交付し、新たな立ち上げや既存のサロンの活性化を応援する事業です。応募期間は令和5年4月3日から4月27日までです。申請を検討されている団体は安佐北区社協の加納までお願いいたします。

❖ 地域高齢者交流サロン …… 上限5万円

※ 月1回以上、概ね10人以上の参加見込み等が条件です。

❖ 地域介護予防拠点 …… 上限5万円（上記とあわせて上限10万円）

※ 毎週1回以上のいきいき百歳体操の実施と、概ね10人以上の参加見込み等が条件です。

ボランティア グループ連絡会 交流会を 開催しました

令和4年10月15日(土)、安佐北区ボランティアグループ連絡会の交流会を開催しました。昨年に引き続き、今年度もボランティアフェスタが中止となりましたが、人数制限を行いながら、ボランティアグループ連絡会会員のみで「交流会」を行いました。

各グループが5分程度で活動紹介を行い、グループ発足時から今までの歴史や活動内容、活動中に工夫されていることなどの発表や、情報共有などで親睦を深めました。普段関わることのできないグループ同士が交流をすることができ、とても盛り上がる交流会となりました。



令和4年度 ボランティア ステップアップ 研修会 開催報告

令和5年2月14日、安佐北区総合福祉センター6階にて「令和4年度ボランティアステップアップ研修会」を開催しました。ボランティアステップアップ研修会は、安佐北区のボランティアやボランティアグループ活動へのモチベーションの向上に

つながるように、年1回様々なテーマで開催しています。今年度は、安佐北区ボランティアセンター登録グループの「安佐北ミミの会」の和田代表より、「聴くということ」というテーマで、傾聴についてのお話をいただきました。参加者の皆さんからは、「聴くときの心構えを学ぶことができた。」「ボランティアや私生活でも活かしたい。」などの感想をいただきました。



社協職員が全力でおすすめする本
シャボン (社本)

「弱者」の哲学

竹内 章郎(著) (科学全書)

能力主義の是非を問うのは難しい。少なくとも、肌の色や生まれに関わらず社会の中で”その能力に応じた”評価を受けるといことは望ましい意味を持つことは否定しがたい事実であろう。一方で、”その能力”とは誰が決めるのであろうか？また、”その能力”を持たない人々の社会での存在や有用性・役割はいかに考えることができるのだろうか？人間の能力に対する捉え方が偏った能力主義の前では、「認知症であろうがなかろうが高齢者を敬うべきだ」、「いかなる差別も廃棄されるべきだ」と説教じみた訴えをするだけで十分といえるだろうか？2016年7月26日未明に相模原市の知的障害者施設「津久井やまゆり園」で起きた大量殺傷事件、事件の犯人は「意思疎通のとれない障害者は安楽死させるべきだ」「重度・重複障害者を養うには莫大なお金と時間が奪われる」と言って障害者を殺傷した。そういった言説に対して、我々はいかなる論理でもって反論することができるのだろうか？そんな問いに対する一つの指標を与えてくれるのが、竹内章郎 著『「弱者」の哲学』(1993年)である。少々難解な本にはなりますが、是非手に取っていただきたい一冊です。



株式会社コムズ様から 安佐町域の地区社協に 寄付いただきました！

昨年12月に株式会社コムズ様からの申し入れで、コムズ安佐パーク開店30周年並びに会社設立25周年を記念し、安佐町域の地区社協(鈴張、小河内、飯室、久地、久地南、日浦、あさひが丘の計7地区社協)へ総額200万円の寄付をいただきました。

コロナウイルス感染状況もなかなか改善されない中、地区社協ではできる範囲での活動再開に向けて、動き出している状況下で、地域福祉活動の活性化のための貴重な浄財となります。

各地区社協の会長からも「大変ありがたいことです。地域福祉活動のために活用させていただきます。」などの感謝の言葉がありました。

赤い羽根 共同募金よりお礼



10月1日から実施してきた「赤い羽根共同募金」運動が、12月末に一区切りを迎えました。

新型コロナウイルス感染症の影響で例年の様な募金活動が実施できない中でも、多くの地域団体・住民の皆さまにご協力をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

皆さまよりお預かりした募金は、地域福祉推進に役立てられる他、県内の福祉事業・災害発生時のボランティア活動のための積立などにも役立てられます。

引き続き、赤い羽根共同募金運動をどうぞよろしくお願いいたします。

街頭募金についてご報告とお礼

安佐北区では、赤い羽根共同募金運動期間中に、有志の方々により街頭募金が実施されました。

たくさんの方々にお越しいただき、善意の募金とともに温かいお言葉をいただきました。

共同募金へのおひとりおひとりのご協力は、暮らしやすいまちをつくるための大きな力となります。

ご協力、誠にありがとうございました。

街頭募金にご協力いただきました皆さま

- 落合東地区社会福祉協議会
- 亀崎地区社会福祉協議会
- ボーイスカウト安佐第8団

亀崎地区社会福祉協議会



〈物品寄付〉
匿名 米45kg様

匿名様
森下 芳子様 (故人)
恵木 初子様
光井 サエコ様 (故人)
〈香典返礼の一部〉

安佐北区社協に、皆さまより多額のご寄付をいただきました。
皆さまの厚意に感謝申し上げます。
令和4年10月26日、令和5年1月31日



愛の灯